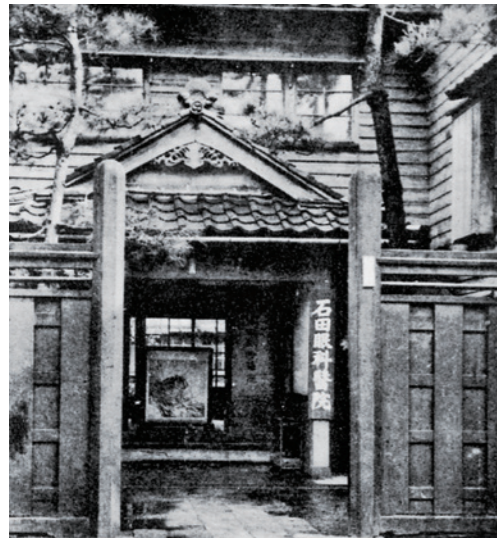


## 新築移転10年を過ぎて



開設当時の診療所



1967年 本院新改築 旧職員15名と



眼科特有の明室・暗室が作り出す窓の表情



W字ピロティ柱と  
陰影深い窓のアルミ外観  
1階のカフェ  
地域のたまり場空間  
2階にある気持ちの良い  
眼下待合いロビー

©平井 広行

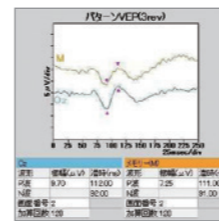


1967年～2010年 移転前の本院

昨年12月24日に旧院から現在の建物に移転して10年が経ちました。当院は正4年（1995年）4月19日に祖父喜一郎が東京帝国大学卒業後、眼科医局で修業の後、本町2丁目木造の診療所を開設し、「人と運に恵まれて」、今年で何とか106年になりました。父修は太平洋戦争中、海軍軍医として空母「瑞鳳」に乗艦中撃沈され漂流しましたが、奇跡的に九死に生を得て帰国しました。その後眼科を東京三楽病院、新潟大学、大学院で勉強をし直し、昭和27年に祖父とともに診療を行い、石田眼科を継承し始めました。その後、昭和42年（1967年）に当時としてはこの地に珍しく近代的な鉄筋コンクリート3階建ての医院を新築してあります。

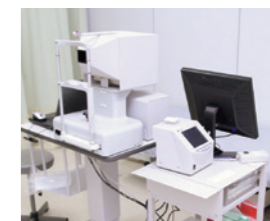
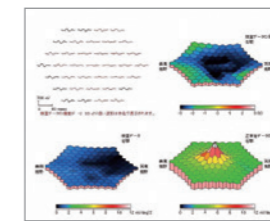
## 最新眼科医療器機紹介

### VEP (視覚誘発電位) Visual Evoked Potential



眼球、視神経等には何の異常もなく視力低下になる場合がありますが、その際は頭の中の病気を考えます。光の刺激で脳波をとり、脳腫瘍、パーキンソン病などの頭蓋内関連疾患や、ほかに心因性からくる視力障害等の診断に有用です。

### VERIS (多局所網膜電図) Visual Evoked Response Imaging System



視力障害の原因が分からず診断が付かない病気が沢山あります。その中でも眼底・網膜に発症するAZOOR (急性帯状潜在性網膜外層症) などの特殊な網膜の病気は通常の器機では診断が付きません。新潟県には数台しかないこのVERIS (多局所ERG) でのみ診断が付きまます。又、硝子体手術の術前後の機能評価にも必要です。

## 専門外来のご案内 [7月、8月、9月]

日程は変更になる場合があります。なお、専門外来は予約制となっております。詳しくはスタッフにお尋ねください。

### 網膜硝子体専門外来

順天堂大学練馬病院 眼科教授 横山 利幸先生 8/20、9/17  
順天堂大学浦安病院 助教 眞下 圭太郎先生 7/24  
聖路加国際病院 前眼科部長 大越 貴志子先生 7/10  
寺尾医師、米田医師他 7/3、7/17、8/3、9/11

### 緑内障専門外来

日本赤十字社医療センター 前眼科部長 濱中 輝彦先生 7/29、7/30、8/19、8/20、8/26、8/27、9/2、9/16、9/17、9/30  
東京大学医学部附属病院 眼科教授 相原 一先生 7/24、9/25

### 視神経専門外来

帝京大学医学部附属病院 眼科教授 溝田 淳先生 今冬予定

### 角膜屈折矯正専門外来

聖路加国際病院 顧問 山口 達夫先生 7/17、8/21、9/18  
国立長寿医療研究センター病院 眼科部長 稲富 勉先生 9/18

### 眼形成・涙嚢専門外来

東邦大学医療センター大橋病院 非常勤講師 矢部 比呂夫先生 7/29  
京都府立医科大学 眼科助教 渡辺 彰英先生 8/28  
聖隷浜松病院 眼形成眼窩外来 上田 幸典先生 8/21

### 小児眼科専門外来

順天堂大学練馬病院 眼科教授 横山 利幸先生 7/31

New Face

## 新人紹介



星野 花恋  
◇ 視能訓練士  
【石田眼科本院】

新しい仲間が増えました。どうぞよろしくお願ひします。

昨年の4月から視能訓練士として入社いたしました星野花恋です。まだまだ未熟で至らない面もありますが、先輩方にご指導頂きながら勤務してまいります。一日でも早く患者さんに信用して頂けるよう、視能訓練士としての正しい知識や技術を身に付ける努力をしてまいります。

## 絆

100歳を超えて  
通院してきてくれる  
患者さんとともに



# 最先端の治療で多くの患者さんが コンタクトレンズや眼鏡から解放されています

興味のある方は  
無料説明会  
開催中

## モダンレーシック

モダンレーシックとはフェムトセカンドレーザー、エキシマレーザーを使用します。OPDの正確なデータをレーザーに入力するので、より正確に視力を矯正出来る方法です。

・19名38眼 平均年齢30.3歳(19~41歳)

治療前視力	治療後
平均右 0.1 左 0.08	平均右 1.0 左 1.0
(令和2年5月~令和3年2月まで)	

## ICL手術 [有水晶体眼内レンズ]

当院ではICL(有水晶体眼内レンズ)手術も始めました。モダンレーシックでは適応外の強度近視の方にも適していますので、興味のある方はお気軽にお尋ね下さい。

(令和2年10月施行) 25歳	(令和3年2月施行) 31歳
治療前 右 0.03 左 0.1	治療前 右 0.03 左 0.03
治療後 右 1.5 左 1.5 近視度数 (-7.5D→±0) (-3.0D→±0)	治療後 右 1.5 左 1.2 近視度数 (-7.0D→±0) (-6.75D→-0.25D)

## DSAEK(Descemet Stripping Automated Endothelial Keratoplasty)

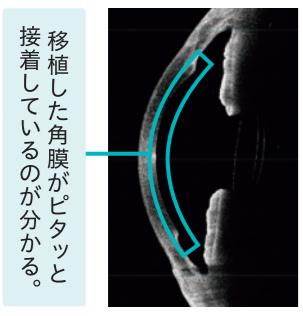
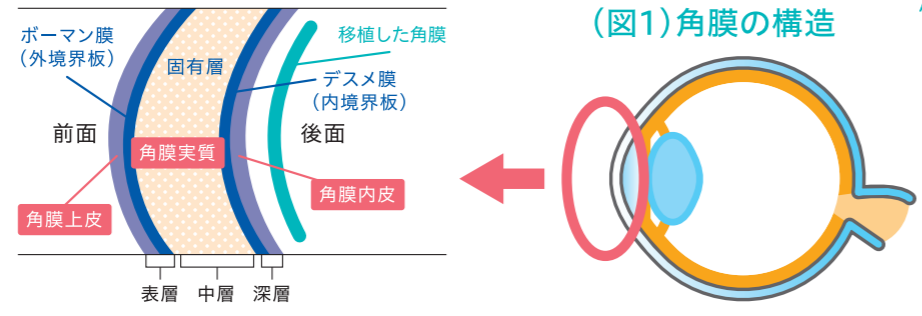
Feature  
特集

### 角膜内皮移植

角膜は0.50~0.60mmの透明な5層からなる組織で、最下層に角膜内皮があります。角膜内皮移植は亡くなった方より提供して頂いた角膜の内皮層のみを貼り付ける画期的な手術方法です。



以前は角膜を取り替える全層角膜移植が表面角膜移植でしたが、2007年の角膜カンファランス(宮崎で開催)で角膜内皮移植が全層移植に取って代わる講演を聴きました。その治療のパイオニアが当地出身の金沢大学小林顕先生でしたので、当院では先生の御指導のもと2008年に新潟県で初の症例を施行し、現在では77例に至っております。



## 2020年手術件数報告 (2020年1月~12月)

● 白内障手術	1309件	● 外眼部手術	16件	● 屈折矯正手術	76件
● 緑内障手術	80件	● 眼瞼下垂手術	125件	● モダンレーシック (タッチアップ含む)	57件
● 角膜移植	6件	● 斜視	6件	● PRK、PTK	19件
● 網膜硝子体手術	191件	● 涙嚢鼻腔吻合術	7件	● ICL	6件
● 翼状片	38件	● 硝子体注入	649件	● その他	121件
					(計2630件)



1989年 旧院増改築前 1989年 旧院増改築

私は昭和62年、聖路加国際病院から父の怪我をきっかけに急遽帰郷し3代目を継承し、新しい眼科医療に対応するため平成元年(1989年)に旧院を新築しました。当時画期的だったと思っ

時、中央病院をはじめ当地の医療施設のほとんどはまだ靴を履き替えていました。平成8年(1996年)に糸魚川に祖父・父から継承された医療に物足りなさを感じ、糸魚川市出身の松木佐代子先生が帰郷されるのを機会に新しいコンセプトのもと分院開設を行いました。眼科医療は急速に進歩し、本院はデジタル検査器械が大学病院以上に増えてきました。又、手術の内容も高度となり、電子カルテ、眼底写真、視野などの検査結果のデジタルファイル化など旧院では対処できなくなりました。「地域にあっても中央に匹敵する」理想的な眼科医療を求めため、熟慮英断し平成22年(2010年)12月24日に現在地に移転し、開院しました。



糸魚川クリニック

移転・設計にあたり全国の最先端の医療施設をはじめ、アメリカ、韓国、インド、タイ等の一流の眼科施設を見学し参考にさせていただきました。移転先は郊外も考えましたが衰退していくこの生まれ育った街の光を消さないように、同じ町内

最後に、今のところ「売れ家と唐様で書く三代目」に何とかならずすみそつです。

次女 大原瞳と長男 学が眼科専門医となり、瞳は12年前から当院の手術や診療に携わり、学は来年4月から継承準備に入ります。医療の進歩は日進月歩です。2人とも今までの修業で私よりも技術、考え方が超えているかもわかりませんが、これからも彼らには研鑽努力を惜みず、「患者さんとの痛みを共に分かち合いながら、名医ならずとも良医」となる事を望んでいます。



瞳先生、誠夫先生、学先生



設計士 日本大学建築学科 教授 今村雅樹先生

石田眼科院長 石田 誠夫